

日本ボランタリーチェーン協会
パネルディスカッション

来局者のための 薬局・薬店**DX**ビジョン

株式会社ジョヴィ
専務取締役 佐藤 明宏





株式会社ジョヴィ

所在地 : 大阪市中央区南船場4丁目2番4号

設立 : 1970年4月

取扱高 : 745億円

主要事業 : 薬局・薬店を中心としたボランタリーチェーンの運営

- **4,000**店を超える薬局・薬店・ドラッグストアに、商品・物流・システムなどを提供。
- 経営の効率化と、サービスの差別化を支援。

薬局DXの論点

令和4年3月10日厚生労働省 第2回薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ資料より

1

薬局デジタル化 支援

国の方針を踏まえたDX情報の提供

電子処方箋、オンライン服薬指導、マイナポータルを通じた各種医療情報の共有等のデジタル技術の進展を踏まえ、諸外国のDX動向を踏まえ、薬局薬剤師の業務はどのように変化していくべきか。

2

オーダーメイド ヘルスケア支援

フォローアップ支援DXシステムの提供

患者フォローアップ情報を収集・分析し、個人にオーダーメイドしたヘルスケアサービスを提供することや、受診勧奨を行うことについては、地域の薬剤師が中心となって担っていくべきではないか。

3

セキュリティ支援

PHR活用に向けた情報セキュリティの整備

薬剤師が患者から収集したフォローアップ情報だけではなく、IoTデバイス等の活用により得られるPHRも含め、いかに有効に活用するかが重要である。そうした情報を適切に活用するために、薬剤師はどのような知識や技能を身につけていくべきか。

1. 薬局デジタル化支援 **国の方針を踏まえたDX情報の提供**

電子処方箋、オンライン服薬指導、マイナンバーカードの健康保険証化など、
国主導のDX化が急速に進んでおり、現場での理解度が課題に。

DXのメリットから 伝える

患者や薬局にとっての
メリットを分かりやすい
言葉で伝える。

仕組みの ビジュアル化

ITリテラシーが決して高く
ない
薬剤師を含めた加盟店関係
者にも図解でわかりやすく
ビジュアルで伝える。

対応製品の紹介

加盟店側、来局者側
それぞれの立場で利用しや
すい製品を選考し紹介。

加盟店全店及び中小零細の地域密着型の薬局薬店が
DX化に取り残されないように

2020年9月施行「投薬後のフォローアップが義務化」



服薬に関する医療インシデントが発生した場合、フォロー義務を果たせていないと
薬剤師の責任が問われることに。



フォローの手法は、電話が一般的な手法

- 相手がなかなか電話に出てくれない、、、
- 電話フォロー業務に多くの時間がかかる、、、
- 通常業務を圧迫し疲弊していく、、、

2. オーダーメイドヘルスケア支援 **フォローアップ支援DXシステムの提供**

LINEベースのフォローシステムを提供し「投薬後のフォローアップをDX化」



- 患者にフォローメッセージを自動配信
- 薬の種類に合わせたメッセージを自動選択

LINE

「お薬で困っていることはありませんか？」
「お薬は飲めてますか？」
「体調で気になることはありませんか？」



フォロー業務の
• 非同期化
• 自動化
により生産性が大幅に向上

LINEで患者と薬剤師の
双方向コミュニケーションが
活発に。
(健康相談 / 商材PR)

患者との信頼関係が醸成
結果的に新規の患者が
大幅に増えている。

3. セキュリティ支援 **PHR活用**にむけた情報セキュリティの整備

インターネットを介した患者情報のやりとりが増加。
患者の情報を守ることは薬局として最重要課題として取組中。

医療機関を狙ったサイバー被害が急増



- セキュリティに関する最新情報の提供
- セキュリティの基礎知識の提供



- 薬局の事情に合わせたセキュリティ機器、ソフトウェアの提供

セキュリティがしっかりした後の加盟店には
多いに電子処方箋と**PHR**を活用して頂きたいと考えております。

医療機関におられる来局予想者に対して
オンラインでの予約、本人認証、電子処方箋の授受
服薬指導、医薬品・商品のお届け、
服薬アフターフォローを一気通貫の
仕組みの中で提供する。

